

校正

上田文齋著

小學人體問答

二篇

全

函原
五二六
字
四三

共三本

正校 小學人體問答二編

凡例

一 不佞曩ニ人體問答ヲ著スト雖モ唯人體外部
 ノ名稱ヲ論ズルノミ此編ハ人身内部形器各
 稱及ヒ生理ノ義ヲ論ズ其體裁及ヒ問答モ亦
 又前編ノ遺漏ヲ補綴ス可キ者トス
 此解剖生理ノ科ハ鑿術ノ為ノミナラス又其
 人ノ為ニ必ス缺可カラザルノ教典トス抑此
 學ハ其精神ニ關ルヨリモ形體ニ係ル丁多ク
 且ツ諸學ノ裨益ヲ論ズルニモ亦此學ニ優ル

正校 小學人體問答二編

凡例

明治九年圖書局發行

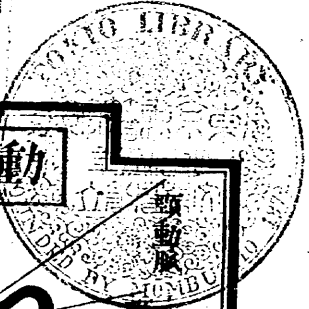
一 不佞曩^{ナニ}人體問答^ニ著^ス下^ニ雖^モ唯^シ人體^ノ外部^ノ形器^ノ名^ヲ稱^ス及^ビ生理^ノ義^ヲ論^ス其^レ體裁^及問答^モ亦^ハ又^ハ前^ノ編^ノ遺漏^ヲ補綴^ス可^キ者^トス

一 此^レ解剖^{生理}ノ科^ハ醫^術ノ為^ニシ^テナ^ラズ^ニ又^ハ其^レ人為^ニシ^テ必^ズ缺^カラ^ザル^ノ教^典ト^ス抑^シ此^レ學^ハ其^レ精^神ニ^シテ^ハ日^ヨリ^モ形^體ニ^シテ^ハ係^ルル^ノ多^ク且^ツ諸^學ノ裨^益ヲ^シテ^ハ論^ズル^ニモ^亦此^レ學^ニ優^ル

動靜血脈循環



人體問答二編

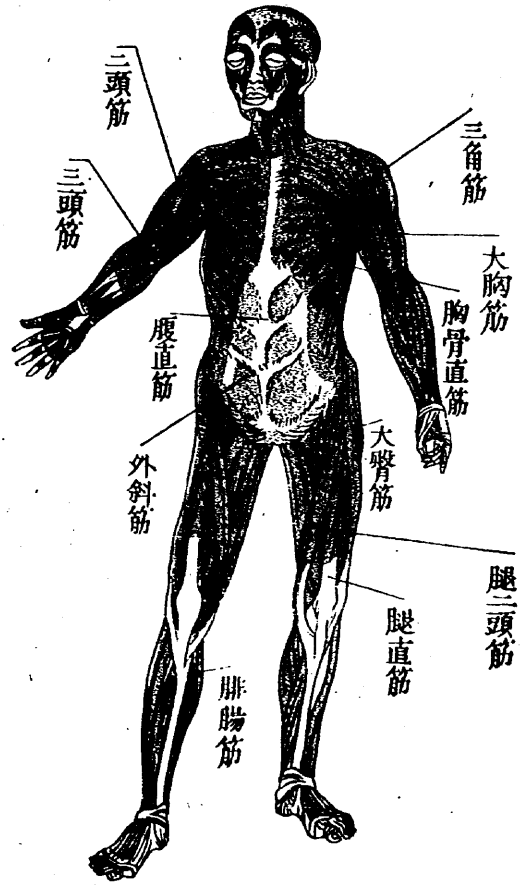


者ナキヲ以テ必ズ他ノ諸學ヨリモ篤ク人ニ
 誨ユ可キノ科トス然レ此書幼童ノ讀本ナレ
 バ其最要ナル大意ヲ喻シ解剖學生理學ノ楷
 樣タル者ナリ

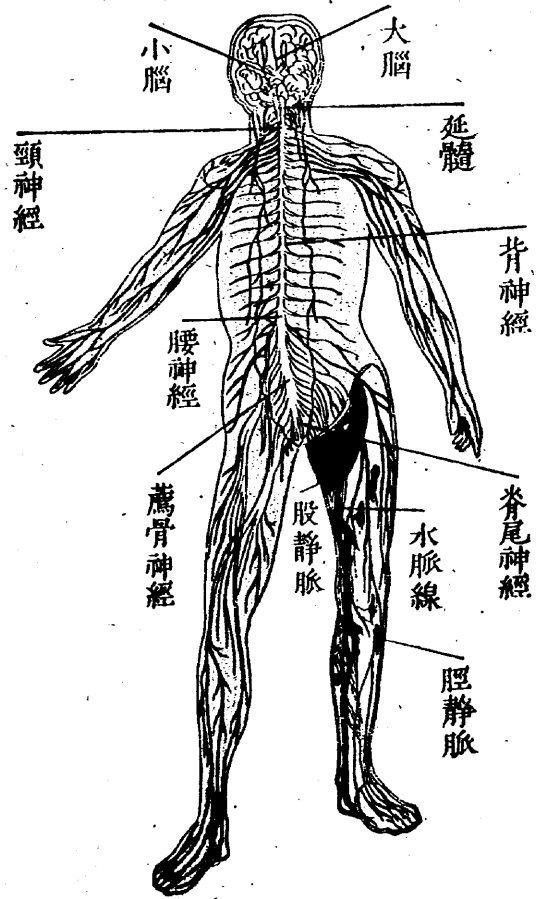
于時明治九年第二月

上田文齋 誌

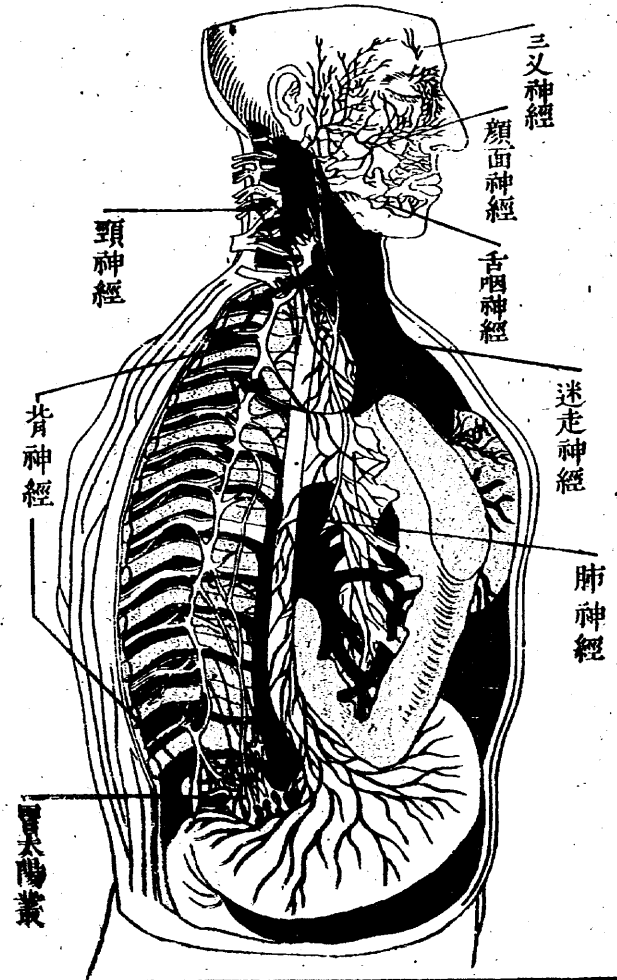
全體肌肉之圖



腦脊髓神經之圖



交感神經之圖



校正小學人體問答二編

第一章

○ 解剖學トハ何ヲ云ヤ

□ 人身ノ骨骼臟腑ノ位置脈管神經等ノ形状

ヲ詳ニ識ルノ學ヲ云フナリ

○ 生理學トハ何ヲ云フヤ

□ 人身ノ生活スル景況及ヒ成長運動ノ理ヲ

上田文齋 輯録

○ 詳識スルノ學ヲ云フナリ

○ 生活官能トハ何ヲ云フヤ

□ 肺臓ノ呼吸又胃臓ノ飲食消化ノ官能ヲサ

シテ云フナリ

○ 人ヲ動物ノ靈長トハ何ヲ以テ云フヤ

□ 人ニ於テハ仁義禮智信ノ五常ヲ務ムト雖

モ禽獸ニ於テハ此務ナク唯猛畏ヲ存スル

ノ三故二人ヲ動物ノ靈長ト云ナリ

○ 人ニ賢者ト愚者トアルハ何ソヤ

□ 其人ノ精神力充分スルト充分セザルトノ

違ナリ然ト雖モ學問ヲ勉強スル片ハ愚者

ト雖モ賢者ニ及ブヘシ

○ 衛生學トハ何ヲ云フヤ

□ 我物出入ノ會計ヲ知ズシテ適其疾病ノ變

ト健全ノ常トヲ鑒別スルヲ能ハサレハ假

令勸業ヲ營ムト雖モ復何ノ要ナシトス

○疾病ノ變ハ何ヲ以テ知ル可キヤ

□解剖生理ノ學ナリ喻ヘハ解剖學ハ我生命

ノ屋宅ノ如シ生理學ハ其構造ノ官能ヲ檢

索スルノ學ナリ故ニ此學ヲ修業スルキハ

自ラ明亮ニ識ルナリ

○解剖學ハ幾部ニ大區別シテ云フ可キヤ

□分テ拾部トス

拾部トハ何ヲサシテ云フ可キヤ

□骨骸 軛帶 筋 營養器 脈管 呼吸器

泌尿器 生殖器 神經 五官等ヲ云フナ

リ

○骨骸トハ何ヲサシテ云フヤ

□全身二百八骨ヲ云フナリ此他齒牙世ニ枚

○軛帶トハ何ヲサシテ云フヤ

□骨骸ノ關節ヲ接續スルニ扁平纖維ヲ組會

シテ圍繞スルモノヲ云ナリ

○筋トハ何ヲサシテ云フ可キヤ

□波層ニ存スル肉ノナリ故ニ筋肉ト云フ

○營養器トハ何ヲサシテ云フ可キヤ

□胃腸ノナリ此二臓ハ食物ヲ消導シテ全身ヲ營養スル器械ナリ

○脈管トハ何ヲサシテ云フ可キヤ

□動脈 静脈 水脈 等ノ循環ヲ云ナリ

○呼吸器トハ何ヲサシテ云フ可キヤ

□喉頭ヨリ氣管肺臓ニ到テ空氣ヲ呼出吸吞スルノ器械ヲ云ナリ

○泌尿器トハ何ヲサシテ云フ可キヤ

□腎臓ニ於テ血中ノ水分ヲ吸收シ尿ヲ製シ

輸尿管ヲ經テ膀胱ニ滯留シ尿道ニ排泄ス

ルノ器械ヲ云ナリ

○生殖器トハ何ヲサシテ云フヤ

□男子ニ在テハ睾丸及ヒ精囊ノ官能ヲ云ヒ

女子ニ在テハ膈子宮喇叭管卵巢等ヲ云フ
ナリ

第二章

○人體ヨ形容スル最要ナル器械ハ何ヲ云ヤ

□骨骸ナリ此骨ハ其質硬ク身体ノ内部ニ構

造シテ形容ヲ定メ且ツ重要ナル器械ヲ護

リ又筋肉附著ノ點トナル猶家ニ柱梁ノ有

ガ如シ

○骨骸ハ幾部ニ大區別シテ云フ可キヤ

□分テ拾部トス

○拾部トハ何ヲサシテ云フベキヤ

□頭骨 八枚 面骨 十四枚 舌骨 一枚 耳内小骨 八枚

脊椎骨 二十四枚 胸骨 一枚 肋骨 左右 十二 尻盤骨 四枚

上肢骨 左右 三十二 下肢骨 左右 三十 等ヲ云ナリ

○頭骨八枚トハ何ヲサシテ云フヤ

□額骨 一枚 顱頂骨 二枚 後頭骨 一枚 顱額骨 二

一枚 蝴蝶骨 一枚 篩骨 一枚 等ヲ云フナリ

○面骨十四枚トハ何ヲサシテ云フヤ

□上顎骨 二枚 顴骨 二枚 鼻骨 二枚 淚骨 二枚 口

蓋骨 二枚 下海綿骨 二枚 錐骨 一枚 下顎骨 一枚

等ヲ云ナリ

○舌骨ハ何レニ在ルヤ

□舌骨ハ一枚ニシテ舌ノ深部ニ位シ 頰頰骨

ノ 錐頰突起ニ連接スル者ナリ

○耳内小骨八枚トハ何ヲサシテ云フヤ

□槌骨 二枚 砧骨 二枚 小珠骨 二枚 馬鐙骨 二枚

等ハ耳中ニ在テ音響ヲ調度スル骨ナリ

○脊柱骨二十四枚トハ何ヲサシテ云フヤ

□頸椎 七枚 腰椎 等ヲ云ナリ

○尻盤骨四枚トハ何ヲサシテ云フヤ

□薦骨 脊尾骨 無名骨等ヲ云フ 無名骨ハ

一名膀胱骨ト云フ 又前陰ニ當ル所ヲ耻骨ト

云フ

○胸骨一枚トハ何ヲサシテ云フヤ

□胸ノ正中ニ在テ其形状似タリ故ニ上

部ヲ手鞆ト云ヒ中央ヲ刀身ト云ヒ下

尖端或ハ鳩尾ト云フナリ

○肋骨二十四枚トハ何ヲサシテ云フヤ

□左右各十二枚ナリ此骨前ハ胸骨ニ連接シ

後ハ背骨ニ連接スルナリ

○上肢骨六十四枚トハ何ヲサシテ云ヤ

□鎖骨二枚肩胛骨二枚上臂骨二枚下臂骨ニ

枚 桡骨二枚腕骨十六枚腕前骨十枚指骨十四枚

等ヲ云フナリ

○腕骨十六枚トハ何ヲサシテ云ヤ

□舟状骨二枚半月状骨二枚楔状骨二枚黎豆

骨二枚不正四角骨二枚不正四角様骨二枚

巨骨二枚鉤状骨二枚等ヲ云フナリ

○ 下肢骨六十枚トハ何ヲサシテ云ヤ

□ 大腿骨二枚 膝蓋骨二枚 脛骨二枚 腓骨二枚

跟骨二枚 距骨二枚 骰子骨二枚 舟骨六枚

楔状骨六枚 跗前骨十枚 趾骨二十八枚 等ヲ云

ナリ

○ 齒牙三十二枚トハ何ヲ云フヤ

□ 前齒四枚 犬齒二枚 小齒四枚 大齒六枚

上下合シテ三十二枚ナリ

第三章

○ 全身ノ肉ハ何ノ作用ヲ為スヤ

□ 筋叢中ニ血液ヲ含蓄シテ赤色ヲ呈シ彼ノ

骨骸ヲ圍繞シ人身固有ノ容貌ヲ形成スル

モノナリ故ニ筋肉ト云

○ 筋肉ハ何ニ由テ骨骸ニ附着スルヤ

□ 筋肉兩端ノ腱ヲ以テ骨骸ニ附着スルナリ

○ 筋肉ノ最モ廣ク厚キ處ハ何ト云ヤ

筋肚ト云フナリ

○肩隅ニ在ル筋ハ何ト云ヤ

□三角筋ト云フナリ

○膊ニ在ル筋ハ何ト云フヤ

□二頭筋ト云フナリ

○肘ニ在ル筋ハ何ト云フヤ

□三頭筋ト云フナリ

○胸ノ真中ニ在ル筋ハ何ト云フヤ

□胸骨筋ト云フナリ

○胸骨筋ノ兩傍ハ何ト云フヤ

□大胸筋ト云フナリ

○腹ノ真中ニ在ル筋ハ何ト云フヤ

□腹部直筋ト云フナリ

○腹部直筋ノ兩傍ハ何ト云フヤ

□外斜筋ト云フナリ

○無名骨部ヨリ大腿骨ニ及ブ處ノ筋ハ何ト云

フヤ

□ 大腎筋ト云フナリ

○ 大腎筋ノ下部ハ何ト云フヤ

□ 腿ノ二頭筋ト云フナリ

○ 腓骨部ニアル筋ハ何ト云フヤ

□ 腓腸筋ト云フナリ

○ 筋肉ハ何ノ作用ヲ主ドルヤ

□ 身體ノ大部ヲ成シ美艶ナラシメ且ツ運動

ヲ生ズルヲ以テ其主任トス

○ 筋肉ハ運動ノ主宰ナルヤ

□ 筋肉ハ其質柔軟ナルニ由テ物体ノ衝撞及

ヒ墜落ノ力ヲ殺以テ骨骸ノ損傷ヲ豫防ス

ル副能アルモノナリ

○ 人身ノ力ハ何ヨリ生ズルヤ

□ 筋肉ハ收縮及弛縦ノ性ヲ固有シ神經ヨ

リ受ル刺衝ニ因テ奮起スル者ナリ

第四章

○性命ノ器械トハ何ヲサシテ云フヤ

□肺胃ノニ臓ヲ云フナリ

○肺臓ハ何ノ作用ヲ為ス者ナルヤ

□全身ニ循環シタル血液ヲ新陳代謝スルノ

器械ナリ

○胃臓ハ何ノ作用ヲ為ス者ナルヤ

□胃臓中ニハ一種ノ液ヲ生ジテ食物ヲ融

酵熟スルノ器械ナリ

○融化解酵熟シタル食物ガ何ノ作用ニ由テ人體

ヲ營養スルヤ

□胃臓ニ於テ酵熟シタル食物腸ニ輸送スル

ヤ胆汁脾液ヲ以テ調和シ此液ヲ腸辦ヨリ

吸収シテ滋養スル者ナリ

○新陳代謝トハ何ヲ云フヤ

□全體ヲ滋養シ終ル處ノ液ハ氣狀ト成テ皮

表ニ蒸發シ餘殘ノ糟粕ハ糞トナリ肛門ニ
排泄シ又新ニ飲食ヲ口ヨリ取ルヲ云フナ
リ

○自分ニ飢餓ヲ覺ユルノ理ハ如何

□胃腸ハ原ト食物ノ内實セルヲ以テ常候ト
ス故ニ飲食腸ニ下リ胃中空虚トナレハ隨
テ異常ノ感應ヲ起シ是ヲ胃ノ神經ヨリ意
識神經ニ傳ヘテ飢餓ヲ覺ルモノナリ

○飲食ヲ饜ト云ハ如何

□飲食適宜ノ量ニ至レハ胃府隨テ膨滿シ内
實ノ感應ヲ覺ユル者ナリ

○咽口ノ渴スル理ハ如何

□血中ノ水分漸ク費耗スレハ諸液ノ分泌モ
隨テ減少シ體中ノ形器其為ニ枯燥スル者
ナリ

○聲ハ何ヨリ生ズルヤ

大塚明本

聲ハ氣喉ヨリ發ス此氣喉ニハ一處ノ罅裂

アリ此ヲ聲門ト云ナリ

○血液ハ始メ何ヨリ運行スルヤ

□心臟ノ左室ヨリ始メ大動脈ヲ循リ頭部手

足ノ細脈末梢ニ終リ是ヲ靜脈末梢ニ吸收

シテ大靜脈ヲ過テ終ニ心臟右室ニ皈ルナ

リ此ヲ血脈ノ大循環ト云

○小循環トハ何ヲ云ヤ

□血液心臟ノ右室ヨリ肺臟中ヲ循リ心臟ノ

左室ニ到ルヲ云フナリ

○人身血液ノ量ハ尋常何程アルヤ

□壯健ノ人ニ於テハ其全量大約十四比アリ

即チ本邦ノ四外五合塗ナリ

○動脈血ト靜脈血ト其色同ジキヤ

□動脈血ハ鮮紅色ニシテ靜脈血ハ稍紫黑色

ヲ帶ルモノナリ

○人體ノ温暖ハ何ヨリ生ズルヤ

□血液ノ運行ニ因テ生ズル者ナリ

○人體ノ温度ハ何度ヲ常温トスルヤ

□攝氏寒暖計ノ三十七八度ヲ常温トス

○攝氏ノ寒暖計トハ何ヲ云フヤ

□硝子管ニ水銀ヲ盛り冷度ト温度トヲ百度

ニ分チタル器械ナリ華氏ノ寒暖計ハ是ヲ

二百十二度ニ分配ス

第五章

○神經ハ幾部ニ大區別シテ云フヤ

□分テ甲乙二種トス

○甲乙二種トハ何ヲサシテ云フヤ

□甲種トハ腦神經一名五官神經ト云フ

乙種トハ脊髓神經一名運化神經ト云フ

○腦神經ハ何ヲ主ドルヤ

□五官神經ノ起原ナリ

○腦神經ハ何程アルヤ

□左右各十二對アリ

○十二對神經トハ何ヲ云フヤ

□第一嗅神經 第二視神經 第三動眼神經 第四滑

車神經 第五三叉神經 第六牽引神經 第七顏

面神經 第八聽神經 第九舌咽神經 第十迷走

神經 第十一副神經 第十二舌下神經 等ヲ云

フナリ

○脊髓神經トハ何ヲサシテ云フヤ

□小腦ヨリ延髓ニ起リ脊柱ヲ循リ薦骨脊尾

ニ到ル神經ヲ云フナリ

○脊髓神經其數何程アルヤ

□左右各三十一對ナリ

○三十一對トハ何ヲサシテ云フヤ

□頸神經 八對 背神經 十二對 腰神經 五對 薦骨神

經 五對 脊尾神經 一對 等ヲ云フナリ

○腦ハ大區別シテ何ト云フヤ

□大脳小脳ト云フナリ

○大脳ヲ大區別シテ何ト云フヤ

□前葉中葉後葉ト云フナリ

○小脳ハ何レニ在リヤ

□大脳後葉ノ下底ニ在ナリ

○小脳ノ次ハ何ト云フヤ

□延髓ト云即チ脊髄神經ノ起原ニシテ全體

運動化育ノ基本ナリ

○腦ノ膜ハ何程アルヤ

□第一ヲ堅腦膜ト云其次ヲ鋸狀膜ト云第二

ヲ蜘蛛絲膜ト云第三ヲ軟腦膜ト云ナリ

○五官神經ノ官能ハ何ヨリ生スルヤ

□人體ノ外物ニ應スルヤ必ズ神經ノ末端其

物ニ抵觸シ其刺衝ヲ受テ是ヲ腦神經ノ中

樞ニ傳達スル者ナリ

○眼球ハ幾部ニ區分シテ云ヤ

□第一層皮ヲ剛膜ト云其前部ニ在ルヲ角膜ト云其周圍眼胞ニ連接スル處ヲ結膜ト云

第二層ヲ脈絡膜ト云其裏面漆黑色ナルヲ

蒲菊膜ト云第三層ヲ網膜ト云ナリ

○眼球中ノ液ハ區別シテ何ト云ヤ

□前房水後房水及ビ硝子液等ナリ

○後房水ト硝子液ノ間ニ在ル者ハ何ト云ヤ

□連斯或ハ水晶體ト云ナリ

○耳中ノ器械ハ何ト云ヤ

□鼓膜ト云フ其前部ヲ外聽道ト云後部ヲ内

聽道ト云此ニ小子骨ヲ連接シ其次ヲ半規

管ト云其次ヲ蝸牛殼ト云ナリ

○男精ハ何ヨリ生スルヤ

□辜丸ニ始リ輸精管ヲ經テ精囊ニ貯フル者

ナリ

○精囊キナカハ何ナニニ在アルヤ

□膀胱ハツタノ底面テイメンニ在アリ

○女子ニョシノ子宮シキウハ孰ナニニ在アルヤ

□膀胱ハツタト直腸チョウチヤウトノ間アヒタニ在アルナリ

○子宮シキウノ兩傍リョウハウニ在アル枝エダハ何ナニト云イフヤ

□喇叭管ラッパカント云イフナリ

○喇叭管ラッパカンノ兩端リョウタンハ何ナニト云イフヤ

□粧總端シヨクタン或シヒハ剪彩ケンサイ又マタ花文カモントモ云イフナリ

○粧總端シヨクタンノ次ツギハ何ナニト云イフヤ

□卵巢ランソウト云イフナリ

○交感神經カウカンシンキウトハ何ナニヲサシテ云イフヤ

□腦ノウノ十對ジウタイ行コウ迷メイ神經シンキウト脊髓神經セキズイシンキウト間錯カンサクシテ内ウチ

臟ソウヲ主宰シユサイスルヲ云イフ假令カトヘハ肺神經ハインシンキウ又マタ胃臟部イヅク

太陽叢タイヤウソウノ如ゴトシ

正校 小學人體問答二編 終

K110-41

久保居堂二書

明治九年第二月二十七日 御届
同 第三月 出版

著者

大坂府下平民

上田文

第三大區十宗區新町通四丁目



同府下平民

出版人

前川善兵衛
前川宗七

第大區廿三小區南久宝寺町四丁目

同町文塚

定價十錢